

ジグザク滑車を用いた タワーヤーダ・ハイリード式搬出

長野市の事業体が採用している搬出方法。長野県は、この搬出方法の普及に努めています。

特徴

1. タワーヤーダの置く位置
2. ジグザク滑車の使用(全国的に無い)
3. 少人数でシステム作業

その結果

1. 生産性の向上(コスト削減)
2. 労働安全性の向上
3. 林地・残存木を傷めない

従来の間伐（点状間伐）

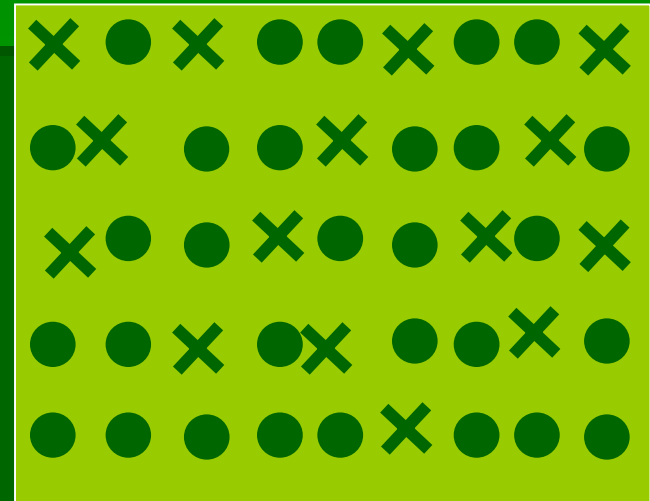
メリット

良い木を選んで残せる。

デメリット

搬出に手間が掛かりコストアップ！

搬出の際**林地・残存木**を傷める。



● : 立ち木
X : 伐倒木

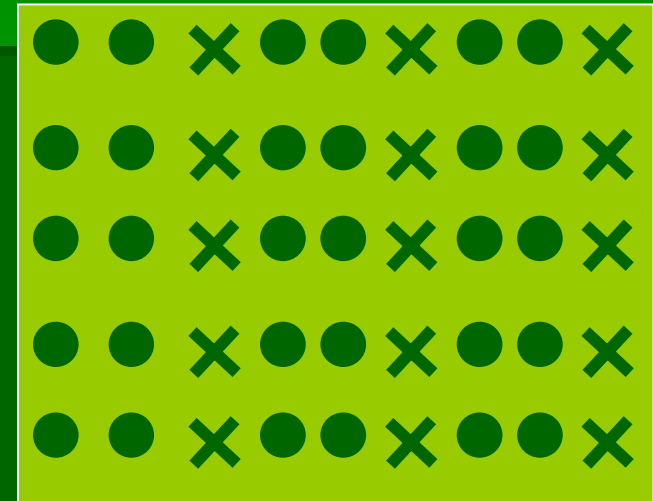
そこで列状間伐

メリット

伐倒が**安全** (掛かり木が無い)

搬出が簡単 **コスト削減**

林地・残存木を**傷めない**



● : 立ち木

× : 伐倒木

デメリット

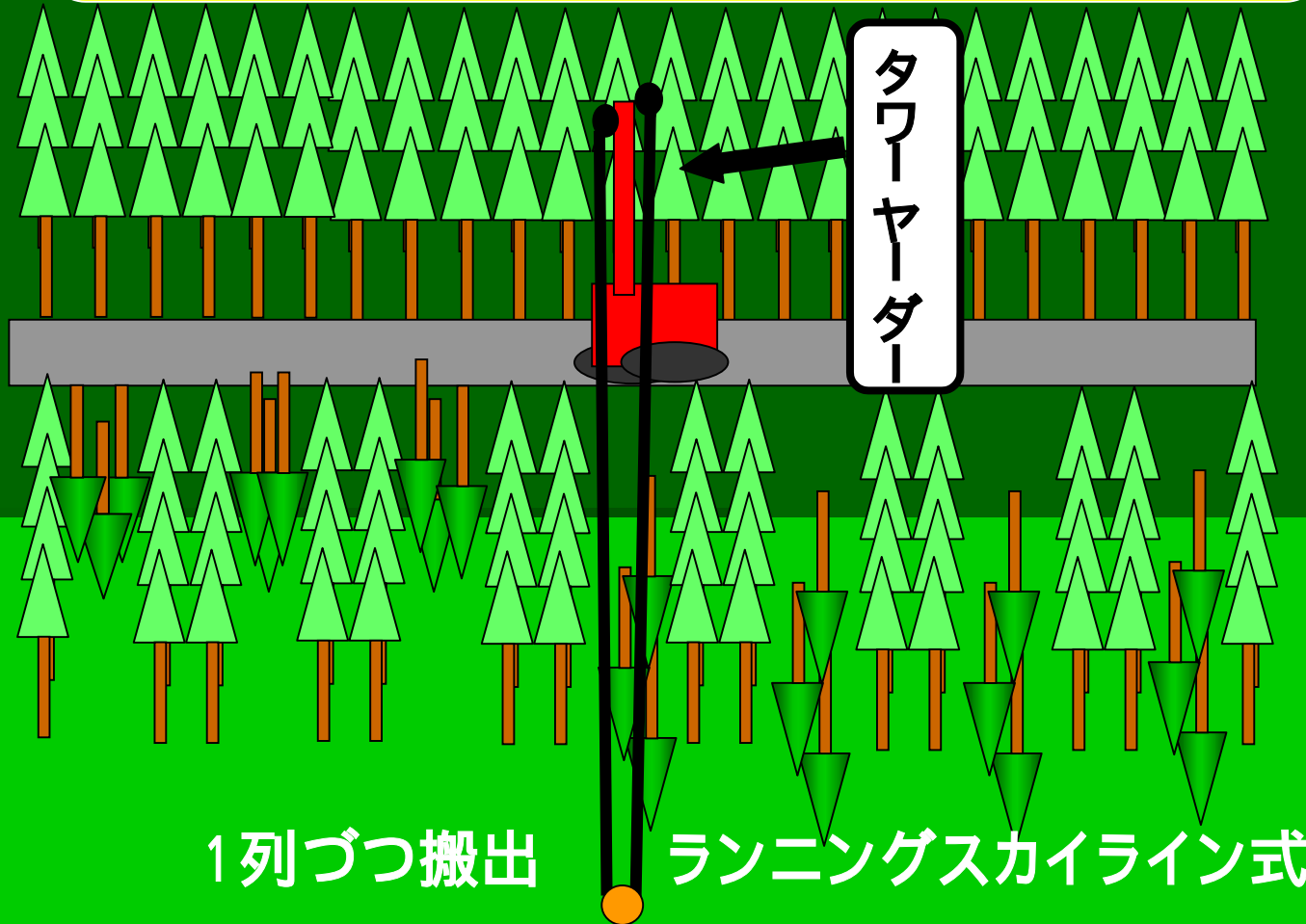
良い木・悪い木とも残る。

列状間伐と通常の搬出の場合

ところが

- 問題点
1. 次の工程までのタイムロス
 2. 搬出時の危険性が大きい

(機械の転倒・伐倒木の滑り落ち)



1列ずつ搬出

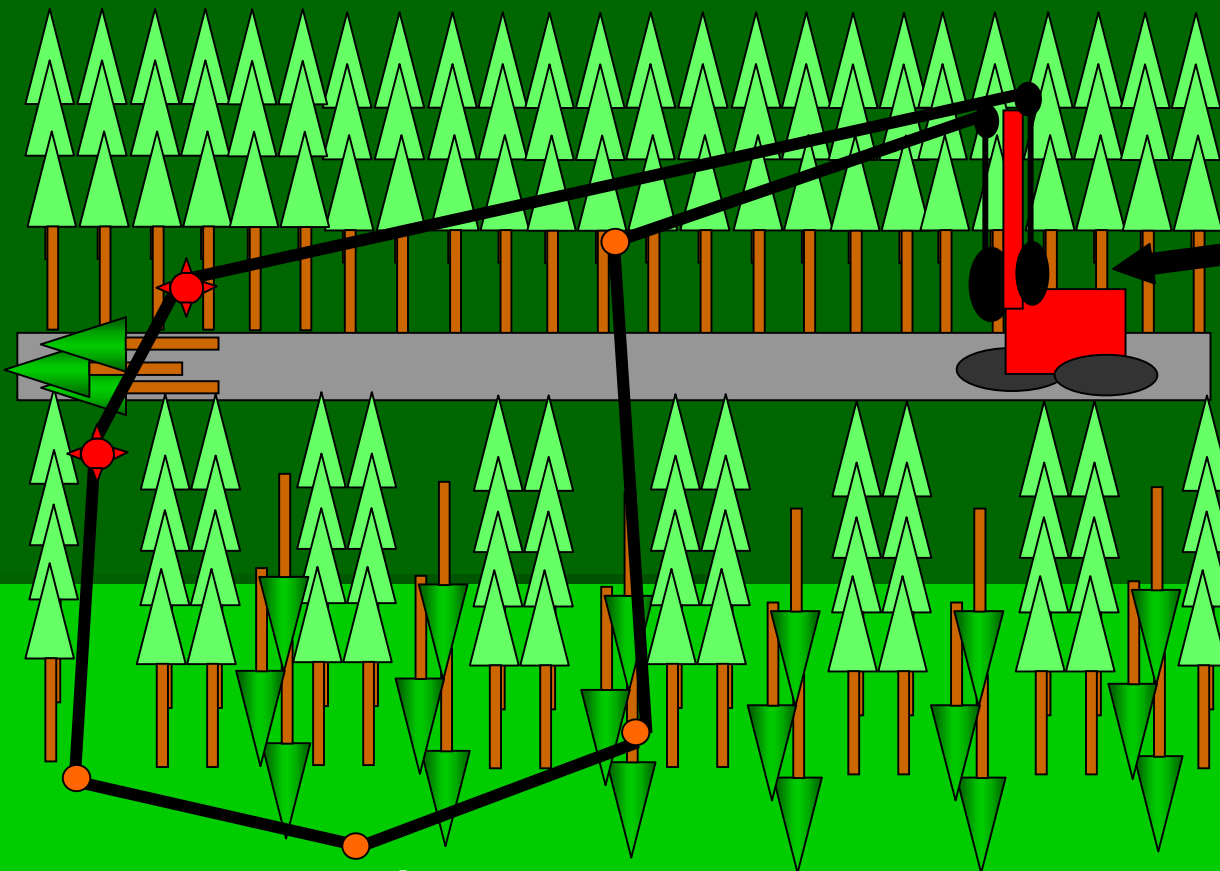
ランニングスカイライン式

そこで

ハイリード式搬出

特徴1. タワーヤダーの配置 列の横から搬出

列の長さ
300m

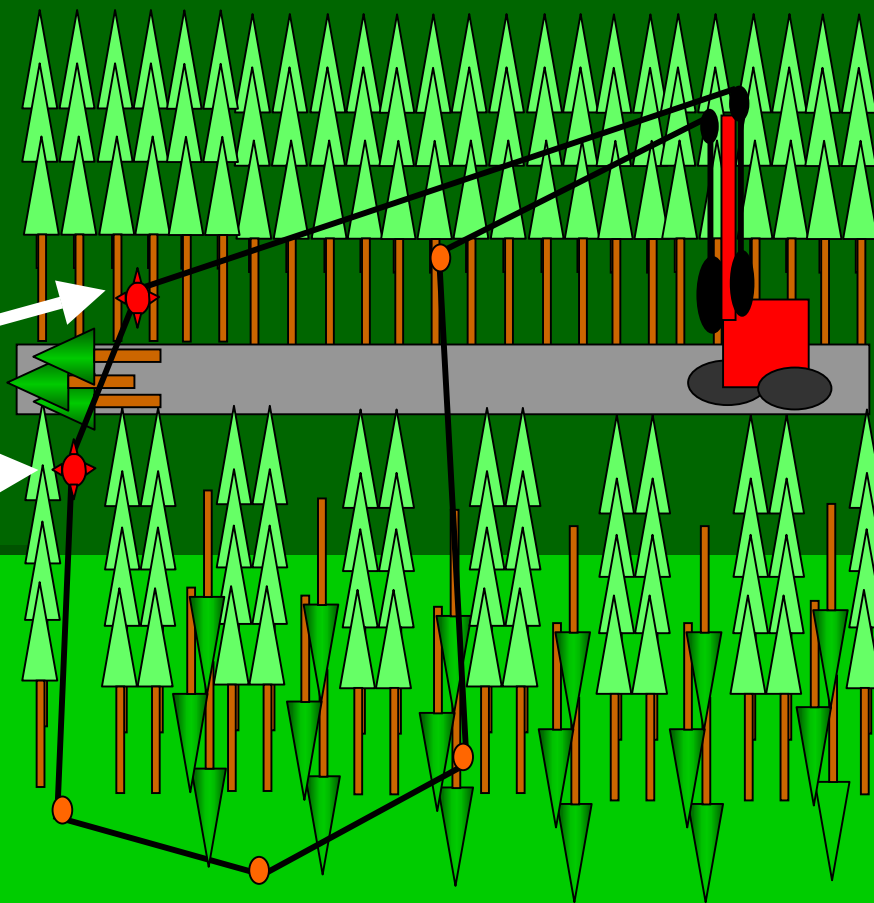


タワーヤダー

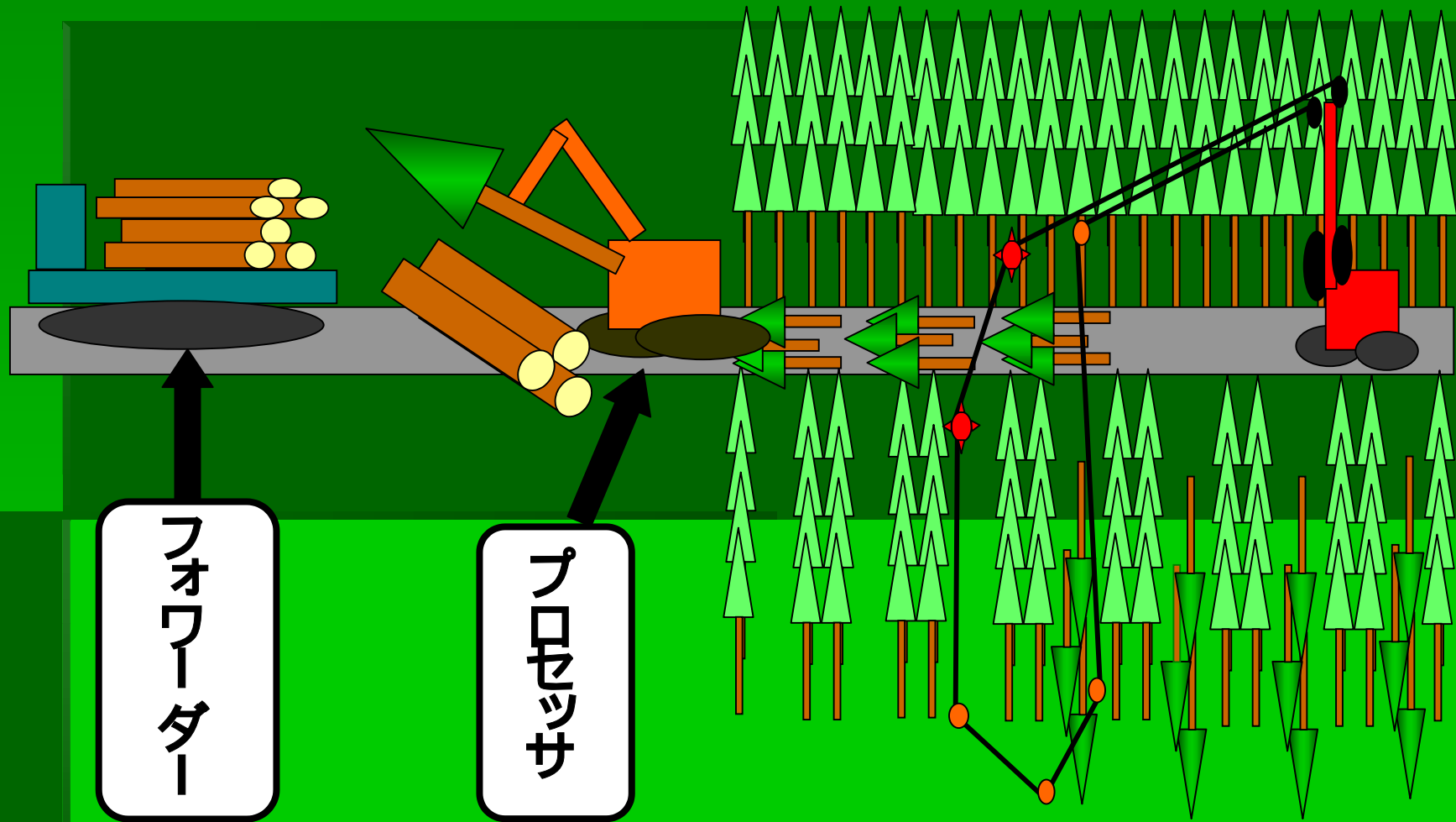
3 ~ 5列

特徴2. ジグザグ滑車

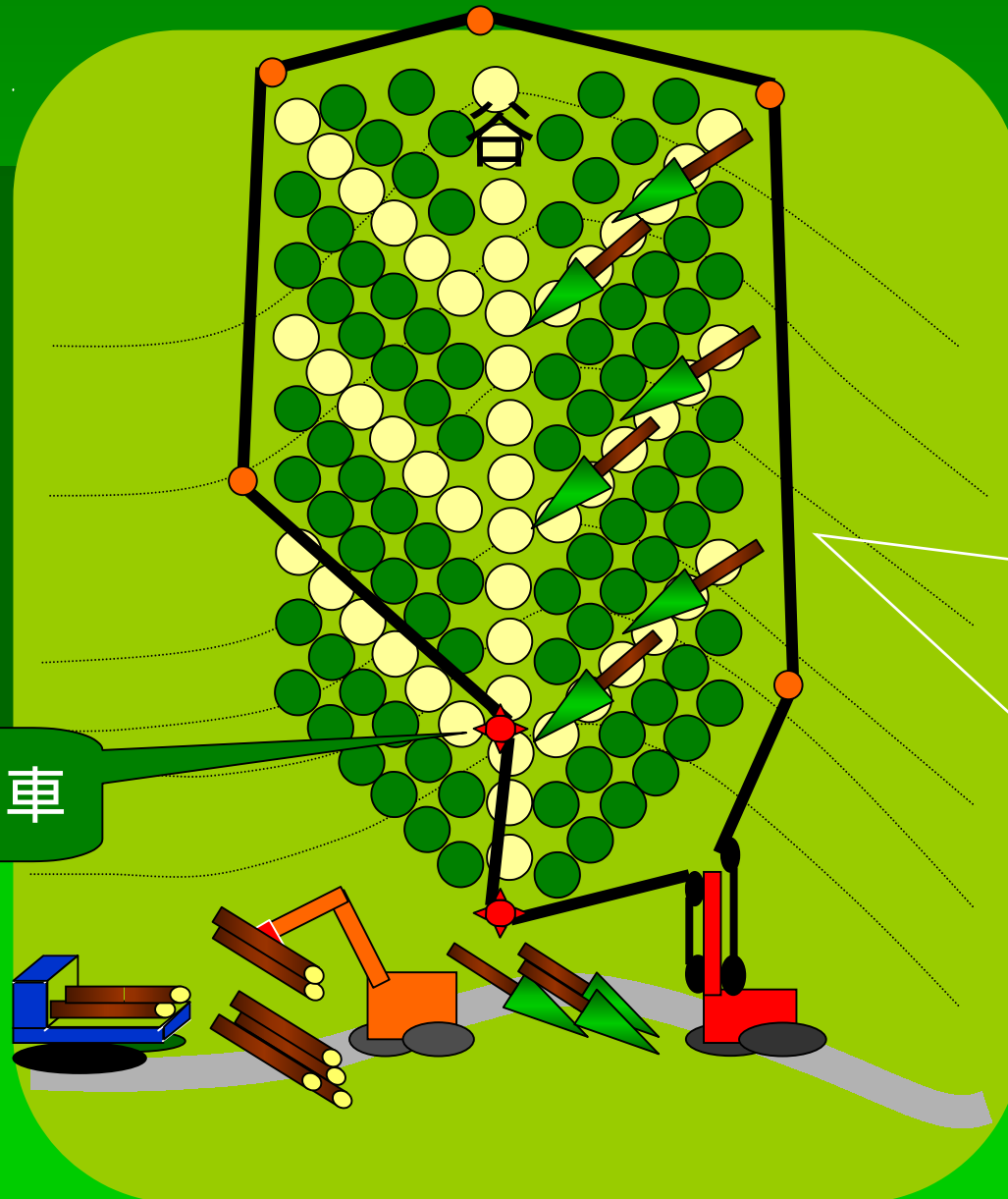
道上に材を引上げることができる。



特徴3 . スムーズなシステム



複雑な地形には魚骨状間伐



ジグザグ滑車

